
地球は丸い

睦月遥歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

地球は丸い

【Nコード】

N1642Q

【作者名】

睦月遥歌

【あらすじ】

悲観な少女は輪廻がキライ。

そこに在るのは変わらない景色だからと。

それでも道を進むのは…

「世界の果て」

輪廻、なんて文字は昔から嫌いだ

巡り廻る そんなことつまらないのに

どうしてそれに頼って生きなければならぬのか

人生でも車のタイヤでも、とにかくそれは嫌いだ

回っていく世界は退屈すぎるだろう

そう思うと、ボールとかタイヤとか球体の者は辛抱強いと思う

ぐるぐると変わらない景色をよくもまあ飽きずに見れるものだ

それが彼らに与えられた宿命でも私なら耐え切れない

もっとも、それは巡り廻る『者達』に意思があつてのハナシ

洗脳でごちゃごちゃになったこの世界では、私達がその「者達」なのか？

だとすると

人類はみな球体と同類か

小さなボールを拾って深く考える

嗚呼、そういえば地球も球体だったな

だとするれば、地球という世界で生きる生命そのものが輪廻でしかない

その輪廻の中で形作られた自分は滑稽で

「だけど莫迦にしてはダメ」

そう、ボールに教えられた気がした

どう取り繕い意見を述べても私の存在が輪廻なら

輪廻も嫌いになりきれない

嫌いになりきれないことに腹がたった私は

……、そのボールを足で踏み潰した

子供じみた癩癧の一種で

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1642q/>

地球は丸い

2011年1月19日01時07分発行